

1 神戸ポートミュージアム

アクアリウム「átoa」やフードホール「TOOTH TOOTH MART FOOD HALL & NIGHT FES」、ウエディングデスク「VOYAGE KOBE」で構成。1階のミュージアムショップやフードホールは入場無料です。

所 神戸市中央区新港町7-2
 (átoa) 時 10時~21時(最終入場20時) ※日時指定予約入場制 料 中学生以上2,400円、小学生1,400円、3歳以上800円、2歳以下無料 休 無 ※2月7日(月)~9日(水)は臨時休館
 ☎078(771)9393
 (TOOTH TOOTH MART FOOD HALL&NIGHT FES) 時 11時~23時30分(ラストオーダーはフード22時30分、ドリンク23時) 休 不定休 ☎078(777)4091

átoaのチケット予約はこちら



六甲山の砂と瀬戸内海の砂を外装に使用

フードホールからは、水族館の水槽で泳ぐ魚たちを頭上に見ることが出来ます



お出掛けの際は新型コロナウイルス感染予防対策に取り組みましょう。

「átoa cafe」のカワソグルメ

左から、気に入った小石を抱える習性をモチーフにした「カワソ抱きつきポテト」(写真は「コンソメ」500円)、チョコクリームが詰まった「手のりカワソまん」(1個500円)、「カワソエクレア」(550円)。アクアリウム「átoa」内の「átoa cafe」で販売。 ☎átoa



グルメ

フェリシモ チョコレートミュージアム ロゴ帆布ビッグトートバッグ

とろけるチョコレートをイメージした金と銀のプリントと、板チョコをかたどったチャームがポイント。縦約39.5センチ、横約40センチの大きめサイズで、日常使いにぴったりです。各3,630円。

所 フェリシモ チョコレート ミュージアム



お土産

抽選で4人にプレゼント(色は選べません)

詳細は6面のクイズへ



見たことのないパッケージに出合えますよ



巨大な板チョコオブジェと記念撮影♪

日没から23時30分までライトアップ!



©(一財)神戸観光局

3 ポーアイしおさい公園

ベンチや遊歩道が整備された都市公園。神戸港を海側から眺める夜景は「神戸都心夜景10選」に選ばれています。

所 神戸市中央区港島1-2-4 所 神戸港管理事務所 ☎078(304)2500 ☎078(304)2504



撮影協力:神戸フィルムオフィス

国際貿易港として知られる神戸港では、平成29年の開港150周年を機に再開発が進行中。魅力的な回遊エリアとなっています。昨年10月にオープンした「神戸ポートミュージアム」は、神戸ならではの食を味わえるフードホールや、アートを組み合わせた展示空間で生き物を鑑賞できるアクアリウムを備えた複合文化施設。大地の隆起と水の侵食によって形成された神戸の地形を表現した外観は、街の新たなランドマークです。

隣に同月開館した、世界のチョコレートのパッケージを收藏・展示する博物館「フェリシモ チョコレートミュージアム」も必見。入つてすぐに甘い香りに包まれ、約1万2千点もの品々に圧倒されます。「パッケージにはパティシエのものづくりへのこだわりや、受け取る人への思いやりが詰まっています」と広報担当の市川美幸さんは語ります。

神戸大橋を渡り、ポートアイランド西側にある「ポーアイしおさい公園」へ足を延ばせば、港や街並み、六甲連山が一望できます。令和元年には市民が神戸市民であることの誇りを表す「BE KOBE」のモニュメントが設置され、港のパノラマと共に撮影が楽しめるスポットとして人気を集めています。

(取材・文 県民だより編集部)

港町神戸を象徴する海辺の新スポットへ

ワーケーション知事室、 いよいよ始動!

県庁の執務室を飛び出し、県内各地域に出向いて仕事をする「ワーケーション知事室」を、昨年12月14日から1泊2日で実施しました。初回は、北播磨地域。多可町のホテル「エーデルささゆり」を拠点に、オンライン会議や地元の人たちとの意見交換を行いました。

ワーケーション知事室の目的

新しい働き方を率先して実践し、推進 / 県民と直接話をしてニーズを把握 / 地域の魅力を自ら体験し、県内外に発信

ワーケーションとは…ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語。テレワークなどを活用し、リゾート地や観光地で余暇を楽しみつつ仕事をする働き方のことです。



1日目

9:30~
エーデルささゆり

オンライン会議①

北播磨県民局から地域の農業や地場産業の現状をヒアリング。その後、県庁とつないで県政課題を協議しました。



10:45~
エーデルささゆり

現地ミーティング①

20代から50代まで、農業や地場産業など多業種の多可町民21人と、それぞれが感じている地域の課題や可能性について意見交換を行いました。



愛用のマスクも
播州織!

「播州織を身に着けて、各地でPRしてください」との要望を受け、早速ジャケットを借りて宣伝活動



12:30~
マイスター工房八千代

昼食は地元で人気の「天船巻き寿司」などに舌鼓。



17:30~
古民家空間kotonoha

現地ミーティング②
多可町に移り住んだ6人と受け入れ側の地元住民3人が集結。それぞれの立場からのリアルな実情をヒアリングしました。その後にはパイプオルガンの演奏も。



15:00~
町立杉原谷小学校

6年生の教室で、児童たちと一緒に兵庫県について勉強しました。



14:15~
道の駅「杉原紙の里・多可」

杉原紙の伝統を学び、実際に紙すきを体験。



きれいな風景に
思わずバシャリ!



13:30~
ジェラートショップ「wacca」

多可町にある直営牧場の牛乳を使ったジェラートを堪能。



13:00~

テレビや新聞など多くの報道陣から取材を受け、北播磨の魅力をしっかりPRしました。

2日目

8:07~
エーデルささゆり

ラジオ関西
「こちら知事室」に出演。

9:00~
エーデルささゆり

オンライン会議③

前日に6年生から贈られた卓上名札を使用!



10:30~
旧来住家住宅

西脇市へ

現地ミーティング③

市内で織物業や観光業、農業などに従事する15人から日頃の取り組みや課題について意見交換し、地域の魅力アップを考える機会に。



12:00~
播州織工房館

多彩な生地や製品が並ぶアンテナショップで、播州織の豊かな色彩や肌触りの良さを再確認。



15:45~
神沢鉄工株

三木金物の老舗道具メーカーを訪ね、自社ブランドのアウトドア用ナイフが並ぶショールームや鍛造現場を見学しました。

三木市へ



12:15~
カーペンターズキッチン

古い織物工場をリノベーションした地産地消カフェで昼食。播州百日どりのグリルがおいしかったです。

ワーケーションを終えて

ホテルでのオンライン会議は通信環境が良く、普段と変わらずスムーズにできました。現地ミーティングでは、酒米「山田錦」の消費量がコロナ禍の影響で減っている状況や、その回復に向けた若い生産者の皆さんの取り組みを聞かせていただき、今後に向けた意見交換を行いました。今回、播州織や杉原紙、三木金物といった地場産業に触れ、身近に感じることで、これらが、大阪・関西万博の来場者を兵庫県へ誘客する“フィールドパビリオン”になり得ると再認識しました。2日間を振り返ると、ハードな行程でしたが、地域に滞在することで多くの場所に足を運ぶことができました。今後もできる限り各地に出向き、皆さんの声を聞かせていただきたいと思います。

